

◆ 令和7年度 県民文化部当初予算のポイント ◆

『しあわせ信州創造プラン3.0』に基づき、女性・若者から選ばれる長野県を目指すとともに、県民一人ひとりが安心して心豊かに暮らすことができるよう、文化芸術の振興、県民生活の安全確保、人権の尊重、男女共同参画や多文化共生社会の実現、学びの県づくりの推進、子ども・若者の希望実現など多様な施策を総合的に推進してまいります。

誰にでも居場所と出番がある社会をつくる

17,757,088千円

【若者の結婚・出産・子育ての希望実現】

・「子育て家庭応援プラン」の拡充により、多子世帯や低所得世帯に主な重点を置いた支援を実施

✓ 子ども・子育て応援市町村交付金により、市町村が独自に行う未就学児を育てている家庭への支援を後押し

✓ 子育て家庭の経済的負担を軽減するため、3歳未満児の保育料軽減支援を拡充

✓ 教育に係る保護者負担の軽減を図るため、私立高等学校の授業料を軽減

新 低所得世帯の経済的負担の軽減を図るため、県内出身者を対象に県立高等教育機関等の授業料・入学金を減免

・ 0～1歳児保育について国基準以上に保育士を配置する私立保育所等を支援し、質の高い保育を確保

Ⓐ 保育所等の施設長等への研修、高校生等への保育現場の魅力を体感する機会の提供等、保育士確保の取組を強化

Ⓐ 若者が自らの生き方を選べるようにするため、大学生や若手社会人向けのライフデザインセミナーを充実

Ⓐ ながの結婚マッチングシステムの登録者を増やすため、長野県婚活支援センターの民間委託による運営強化や登録方法の改善を実施

【子ども・若者が夢を持てる社会の創造】

・ 大学等への進学希望を応援するため、将来有望な若者に対して給付型奨学金を支給

Ⓐ 信州みらいフェスの開催や沖縄県の若者との交流の機会を設けることなどにより、若者の社会参画や交流を促進

Ⓐ 子ども・若者の相談や助言を行う「子ども・若者総合相談センター」を設置運営

新 ニューロダイバーシティ（神経学的多様性）の考え方の企業への普及啓発や若者の離職防止・就労促進を実施するため、推進員を配置

Ⓐ 里親委託率の大幅な向上を図るため、里親の開拓・養育支援を行う「里親支援センター」の設置を促進

新 特別養子縁組の民間あっせん機関から養子のあっせんを受ける養親が支払う手数料を補助

新 児童養護施設入所児童等が課外活動等に取り組める環境を整えるため、習い事や就業体験に係る経費等を補助

【年齢、性別、国籍、障がいの有無や経済状況等が障壁とならない公正な社会をつくる】

新 人権政策の在り方及び犯罪被害者等支援体制の充実について検討

新 外国人を含む全ての県民が地域社会の一員として等しく活躍できる社会づくりを推進するため、長野県外国人政策検討会議（仮称）を設け、今後の政策のあり方や現行制度上の課題等について議論

新 県内に住む外国人が地域の一員として暮らすために必要な日本語や生活習慣等の講座をオンラインにより提供

新 災害時に外国人県民への情報発信等を行う「災害多言語支援センター」等において通訳・翻訳業務に従事できるボランティアを養成

【女性が自分らしく輝ける環境をつくる】

・ 女性が活躍できる職場づくりの推進に向けて、企業、自治体等のリーダーの意識改革を促進

新 女性同士が悩みや課題を共有できる機会として、働く女性と女性リーダーを交えた交流会を実施

新 地域活動に意欲のある女性の後押し及び参加しやすい環境づくりを促進するための意見交換会を実施

誰もが主体的に学ぶことができる環境をつくる 14,010,671千円

【一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進】

- ・ 学びの「新しい当たり前」を共に創るため、信州学び円卓会議において、様々な主体の連携・協働を促進

【一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境の創出】

- ⑧ 「子育て支援活動の推進」を実施する幼稚園に対する運営費の補助単価を引上げ
 - ・ 信州の豊かな自然環境や多様な地域資源を活かした「信州自然留学」・「信州やまほいく」の普及を推進
- ⑧ 子どもたちの多様な学びの場や居場所を充実させるため、認証した信州型フリースクールに対する運営費補助を拡充するほか、学校等との連携を支援する「不登校支援機関連携推進員」を増員
 - ・ 教育に係る保護者負担の軽減を図るため、私立高等学校の授業料を軽減【再掲】
- ⑧ 子どもを3人以上扶養する世帯の私立専門学校生の授業料等を、所得制限なく上限まで減免

【高等教育の振興による地域の中核となる人材の育成】

- ⑨ 低所得世帯の経済的負担の軽減を図るため、県内出身者を対象に県立高等教育機関等の授業料・入学金を減免【再掲】
- ⑧ 信州の大学及び短期大学で多くの若者に学んでもらうため、県内大学等で学ぶ魅力を県内外に向けて発信

持続可能で安定した暮らしを守る・創造的で強靱な産業の発展を支援する 139,545千円

【県民生活の安全確保】

- ・ 自転車用ヘルメットの着用率向上を図るため、高校生を対象とした体験型交通安全教室などの啓発活動を実施
- ・ 県警・市町村・関係団体と連携し、電話でお金詐欺被害防止対策を推進
- ・ 本年4月に消費生活センターを集約し、相談機能を強化するとともに、市町村の消費生活相談員に対する研修等の支援を充実

【循環経済への転換の挑戦】

- ・ 業者との協働による県民のエシカル消費の実践につながる取組を実施

快適でゆとりのある社会生活を創造する 2,720,978千円

【文化芸術の振興と文化芸術の力の様々な分野への活用】

- ・ 「信州アーツカウンシル」による助成、相談・助言等により県内の文化芸術活動を支援
- ・ 県民が文化芸術に触れる機会を創出するため、文化施設における鑑賞等の機会の充実に取り組むとともに、東山魁夷館の開館35周年を記念した企画展等を開催
- ⑧ 地域振興局と連携して、民俗芸能の保存・継承を支援
 - ・ 令和8年度編さん着手に向けて、編さん計画の検討など県史編さんの準備を推進